

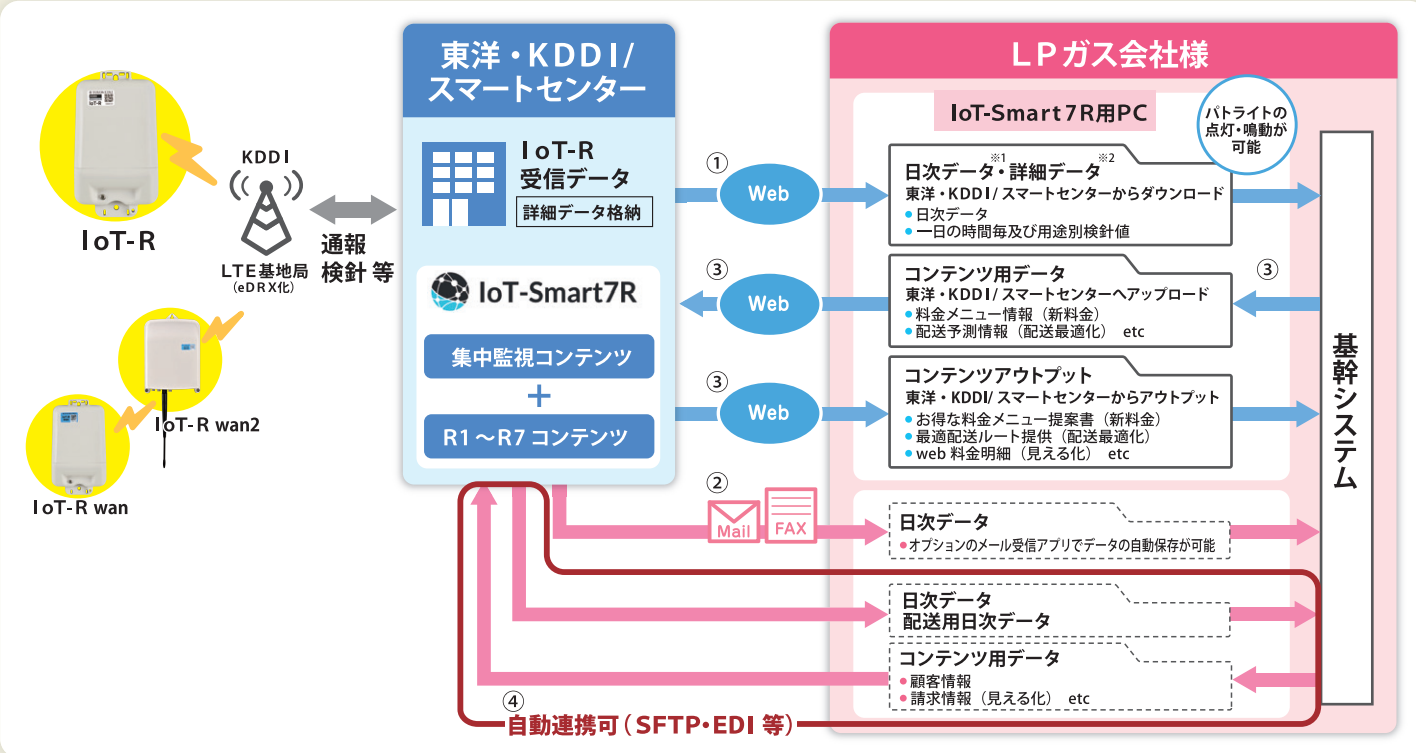
# 7 基幹システムとの連携

## 1 [新規導入]ユーザー様

日次データは東洋・KDDI/スマートセンターからダウンロード(①)またはメール配信(②)が可能です。各コンテンツに必要なアップロードデータを作成頂くことで、コンテンツをご利用頂けます(③)。

また、自動連携機能(④)により、さらに便利にご利用頂けます。

※1. 日次データ：毎月の検針・配送・保安・保守情報  
 ※2. 詳細データ：一日の時間毎及び用途別検針値

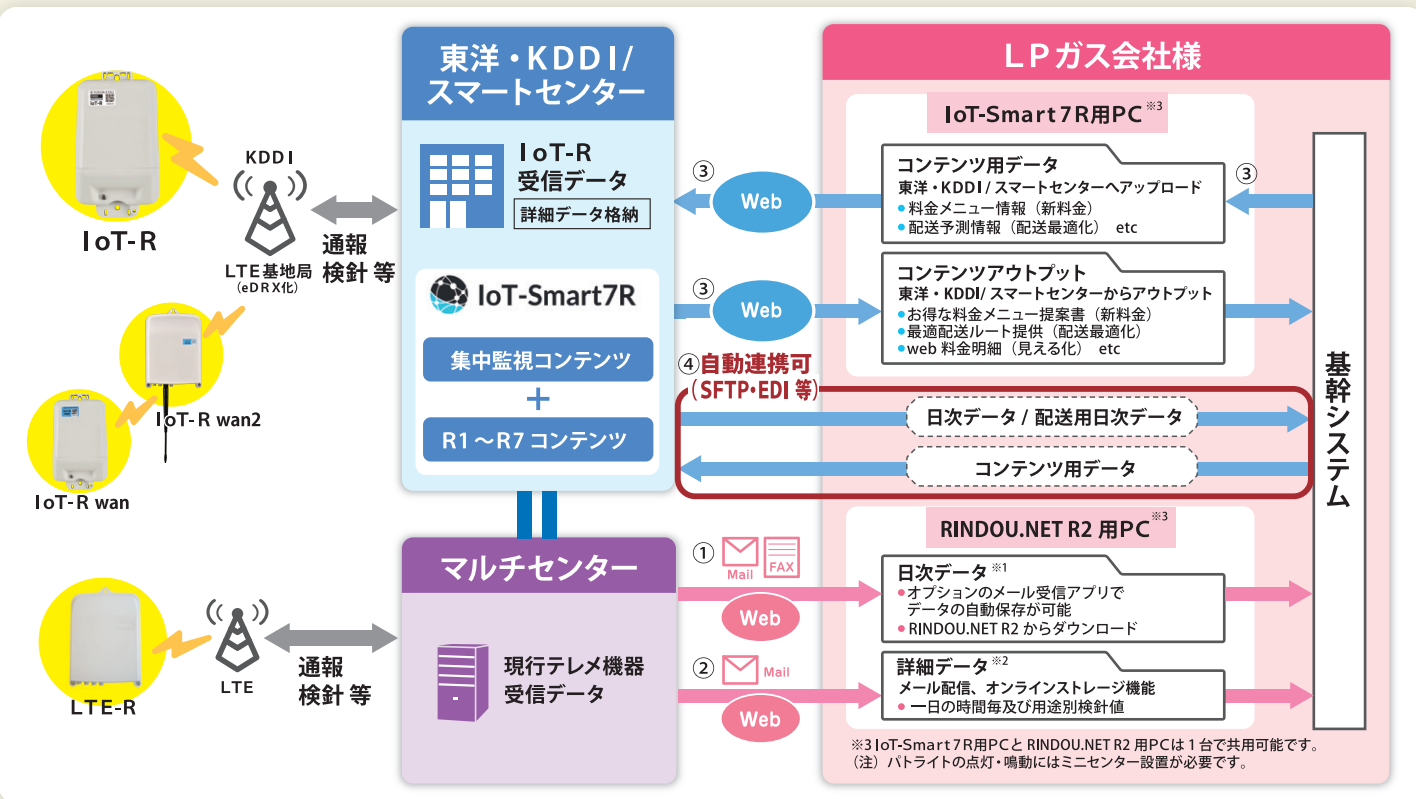


## 2 [マルチセンター加入]ユーザー様

IoT-R・既存機器の日次データは、マルチセンターからダウンロードが可能です(①)。一日の時間毎及び用途別検針値については、メールに添付して配信します(②)(開発中)。各コンテンツに必要なアップロード

データを作成頂くことで、コンテンツをご利用頂けます(③)。また、自動連携機能(④)により、さらに便利にご利用頂けます。

※1. 日次データ：毎月の検針・配送・保安・保守情報  
 ※2. 詳細データ：一日の時間毎及び用途別検針値

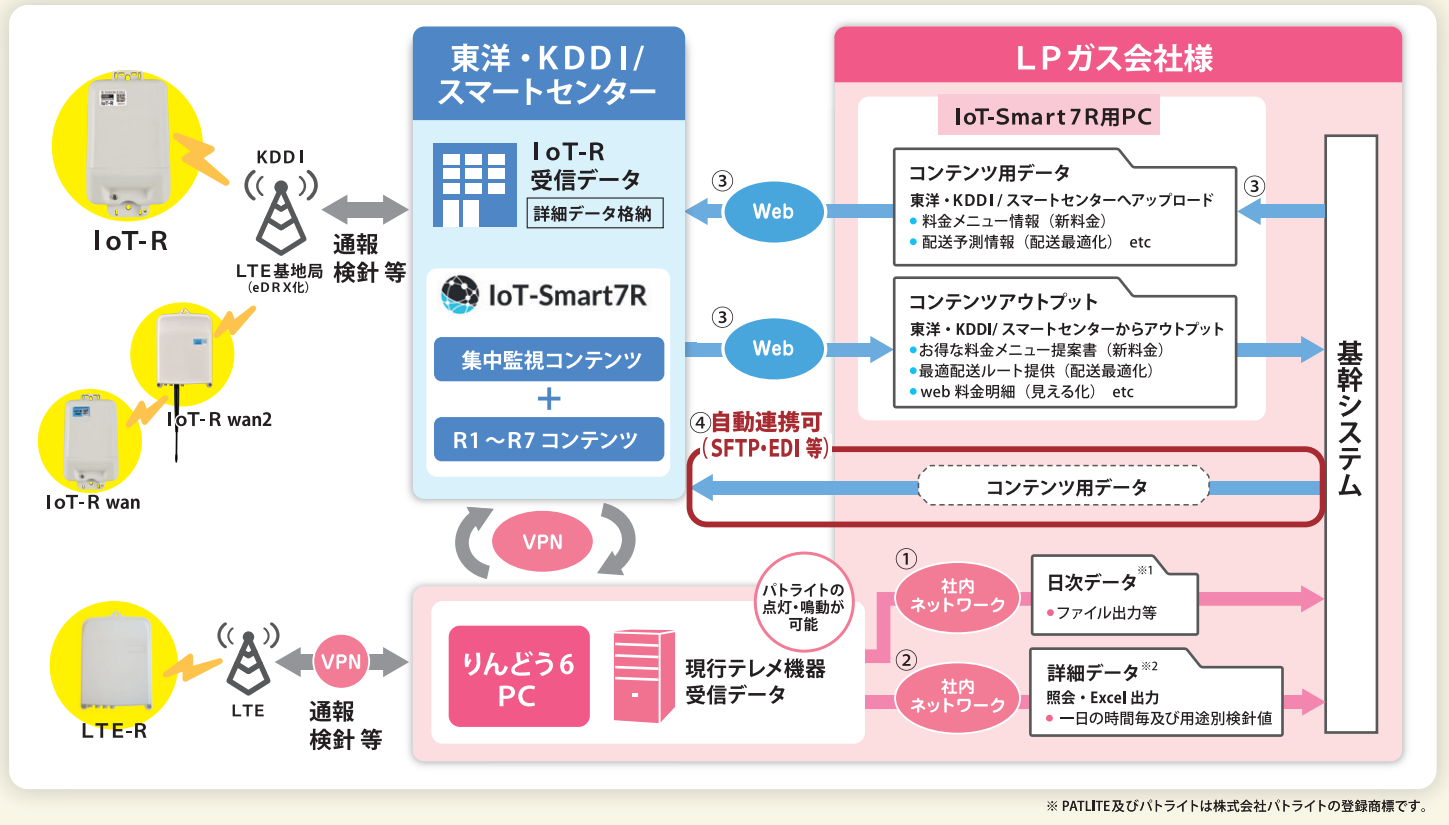


## 3 [りんどう自社センター運用]ユーザー様

IoT-R・既存機器の日次データは、りんどう6からこれまでの方法で転送が可能です(①)。一日の時間毎及び用途別検針値については、りんどう6で照会・Excel出力可能です(②)。各コンテンツに必要なアップロー

ドデータを作成頂くことで、コンテンツをご利用頂けます(③)。また、自動連携機能(④)により、さらに便利にご利用頂けます。

※1. 日次データ：毎月の検針・配送・保安・保守情報  
 ※2. 詳細データ：一日の時間毎及び用途別検針値



※ PATLITE及びパトライトは株式会社パトライトの登録商標です。

## NEW マルチデータジャンクション(MDJ)

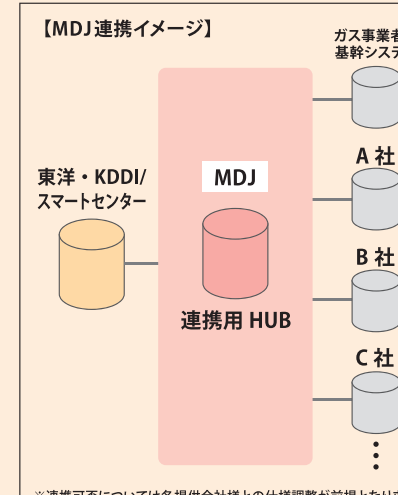
特許申請中・商標登録済

LPWA技術を活用した様々な通信端末が急速に普及しており、今後、長期事業運用や商圏の統合拡大などを想定した際、柔軟な技術的連携(データ連携)の必要性がさらに増すと考えられます。

MDJは、異なる提供メーカー・センター間のデータ連携を容易にし、ガス事業者様の利便性向上に貢献します。

### MDJの活用メリット

- 1 連携の技術的課題を吸収します**  
 データ連携の際、技術的な課題であった各社独自方式部分(データ構成等)を吸収する変換プログラムを初めから備えることで、開発のスピードアップ・コストダウンに繋がります。
- 2 連携する相手の工数も軽減します**  
 連携する相手方が連携しやすい様に、各社の開発工数を最小とする役割も果たすことを目的としています。
- 3 各社システムとの連携が容易になります**  
 東洋・KDDI/スマートセンターと各社データセンターの連携、ガス事業者様の基幹システムとの連携以外に、A社とB社間のデータ連携部分もサービスとして請負う予定です。



※連携可否については各提供会社様との仕様調整が前提となります。

### MDJの具体的な活用例

- 集中監視業務委託先の統合に**  
 集中監視業務の緊急時連絡(7号業務)委託先の統合が図れます。コールセンター業務も集約委託が可能でワンストップの電話対応業務サービスが構築できます。
- 共同配送事業者等へのデータ提供に**  
 各社LPWA端末の毎日検針データをMDJが集約し同一方式で出力することで、共同配送事業者等へのデータ提供も容易で、連携先が複数あることへの障害も軽減されます。
- 商圏移譲時のデータ連携をスムーズに**  
 認定販売事業者制度による商圏拡大・事業所統合等における供給エリア見直しにより、商圏移譲に伴った際のデータ連携をスムーズに行い、柔軟な対応を可能とします。
- IoT-Smart7Rのコンテンツ提供に**  
 新・料金メニュー、ガス器具劣化予測情報、Web明細(ガスるっく)、見守りサービス、配送Naviアプリ、プリペイドサービスといったIoT-Smart7R(運用ソフト)の提供コンテンツが、各社LPWA端末でも技術的に同一画面・同一ソフトで運用可能となり、共存が図れます。

※機能により一部除く